






## 特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ず、この説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

### 用語および記号の説明

-  **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
-  **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
-  「禁止」「してはいけません。」
-  「遵守」「指示通りしてください。」
-  「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

### 警告

浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。  
火災や感電の原因となります。

### 注意

この施工説明書以外の改造はしないでください。  
故障や漏水の原因となります。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。

漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。

給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当り動かなくなると、水が出放しとなります。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。

オーバーフロー用排水管は、便槽に接続しないでください。  
便器が故障して、給水が止まらないとき便槽があふれる恐れがあります。

オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40またはVP30で必ず配管してください。

オーバーフロー用排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

陶器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。

破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

床に便器を埋め込まないでください。

修理できなくなります。本水洗切替ができなくなります。

止水栓からロータンのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水L管(サブライ管)のツバのない止水栓側の接続には注意してください。

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水L管の止水栓側の差込が少ないと配管が抜け、家財を濡らす原因となります。

便器設置部の床面は水平にしてください。

便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、注意してください。

凍結防止ヒーターの利用、ロータンの水抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。  
資格のない人が電気工事をするのは法的に認められていません。

## 施工の前に

### ■ 梱包内容をお確かめください

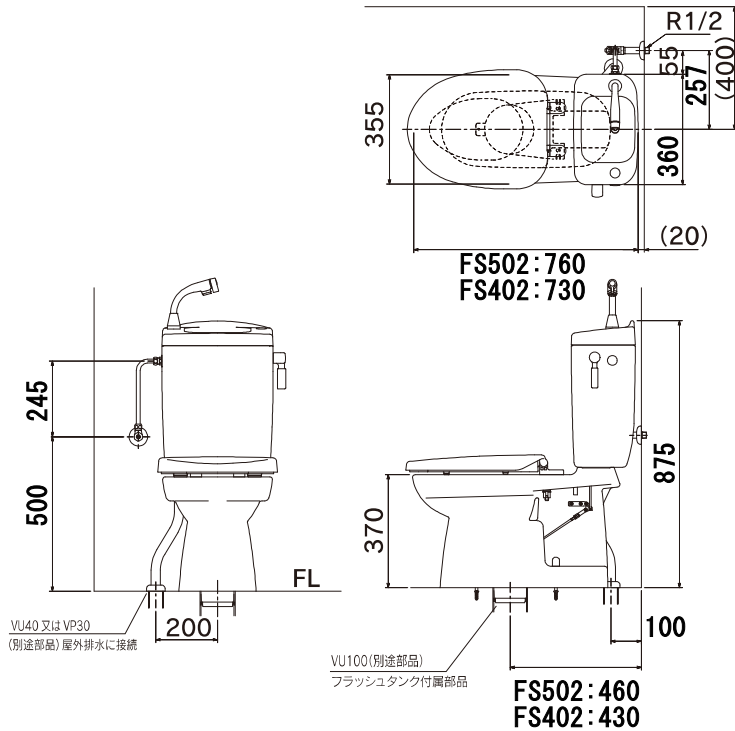


### ■ 必要な工具、別途必要なもの

工具		
(+)ドライバー又は電動ドライバー 床フランジ取付木ねじ締め付け用	(-)ドライバー 止水栓の開閉	ノコギリ 既設の床フランジ取り外し用
プライヤー又はペンチ又はラジオペンチ ロッド接続の割りピン曲げに使用	スパナ(13)又は自在スパナ(モンキーレンチ) スタッドボルトのナット締め付け用 スパナ(13)	コンクリート用ドリル(8φ)、電気ドリル 床がコンクリートやタイルでカールプラグを使用する場合
スパナ(24)又は自在スパナ(モンキーレンチ) フレキシブル管などの袋ナット締め付け用 手洗付きの場合、手洗吐水栓の取り付け用 スパナ(24)	スパナ(27)又は自在スパナ(モンキーレンチ) 右給水にすると、ボールタップ締付ナット用 スパナ(27)	カッターナイフ又はニッパ 継ぎタシ管の切断用
部材		
コーキング剤(シリコンシーラント) 床フランジと導入管のコーキング用	塩ビ用接着剤 接続パイプを使用する場合 既設のオーバーフロー排水管が塩ビパイプP20やP25(※1)のとき使用します。V P30やV U40(※1)のときは使いません。	コーキング剤
シールテープ 水道管と止水栓の接続用	塩ビパイプVU40又はVP30、エルボ オーバーフロー排水管用	シールテープ
アングル止水栓又は止水栓とフレキシブル管 トイレの元栓	ペーパーホルダー	アングル止水栓又は止水栓とフレキシブル管

温水洗浄便座、暖房便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

## ■ 寸法図



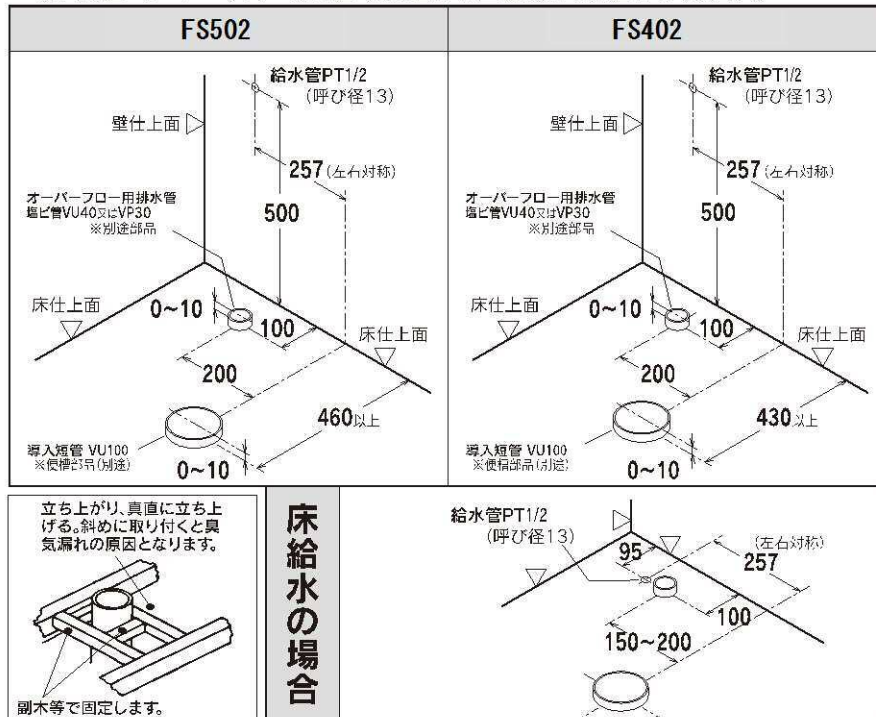
## ■ 配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K6741 に準じた硬質塩化ビニル管 (塩ビ管) を使用してください。  
肉厚：導入管・導入短管・・・2mm以上 (ブロー品継手類 1.6mm以上)  
臭突管・・・1.5mm以上 (ブロー成形品継手類 1.2mm以上)
- 導入管・導入短管は、VU100 を使用してください。  
また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。  
段差で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。  
横引きの導入管途中には、絶対にエルゴを使用しないでください。
- 臭突管  
次の場合は必ず臭突を設置してください。  
①2階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合  
②小便器を設置する場合  
臭突管の先端には、排気トップ (臭突ファン等) を設けてください。  
排気トップは、防臭機能に支障のきたさない性能のものを使用してください。  
排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。  
配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10分程の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- 水道配管  
水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。  
使用水道圧範囲：0.05MPa～0.75MPaの範囲で使用してください。
- 水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用 (ウォーターハンマー) の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。
- オーバーフロー・屋外配管からの臭気上りについて  
(製造物責任法を考慮した注意書きについて)  
オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。便槽があふれる恐れがあります。

## 施工の手順

### 1 導入短管の位置決め

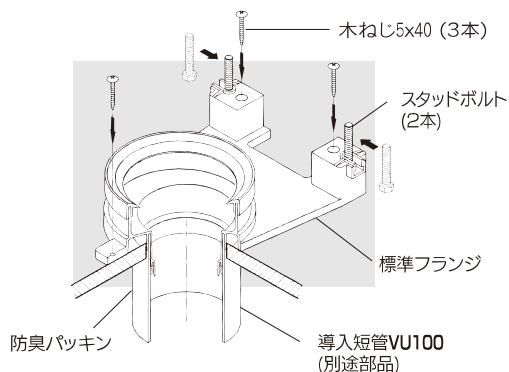
導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



## 2 床フランジの取付

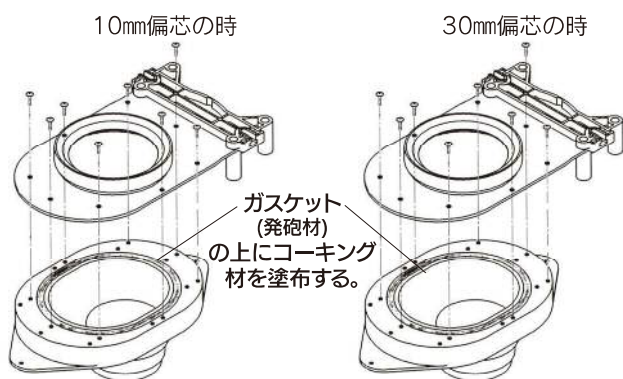
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

### 標準フランジ



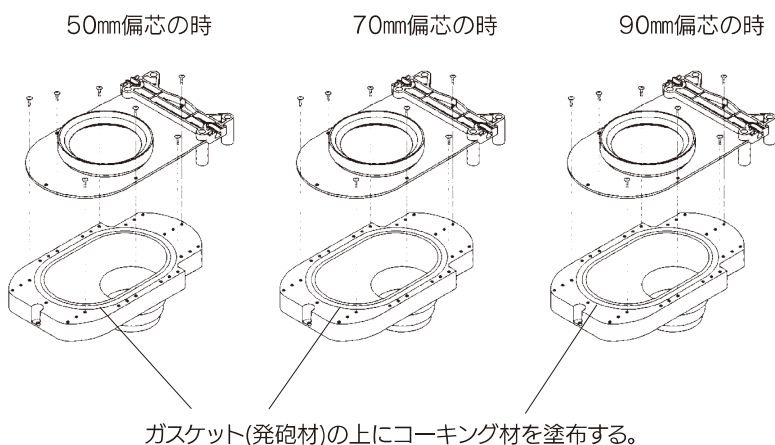
### 改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの偏心量を決めてください。  
偏心量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコンシーラント）を充填してからネジを止めてください。  
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



### 改造フランジ579 品番:APH-Z81

改造フランジの偏心量を決めてください。  
偏心量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコンシーラント）を充填してからネジを止めてください。  
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



注) 改造フランジ579は、改造フランジ13のように反転できません。

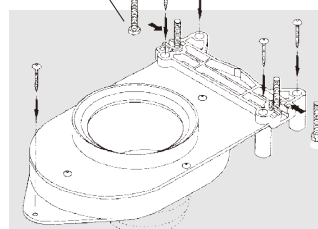
### 共通事項



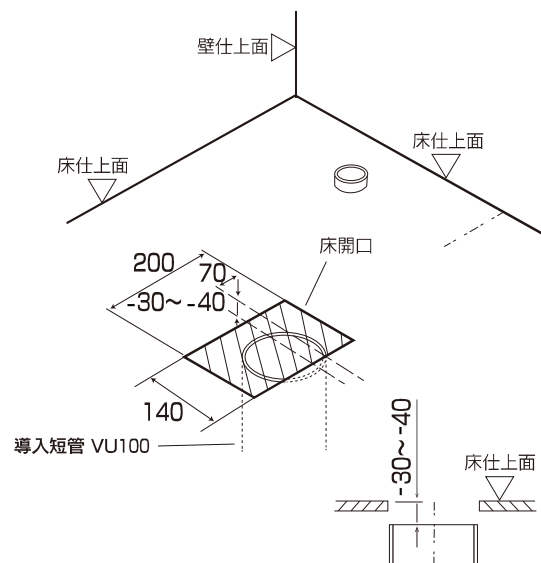
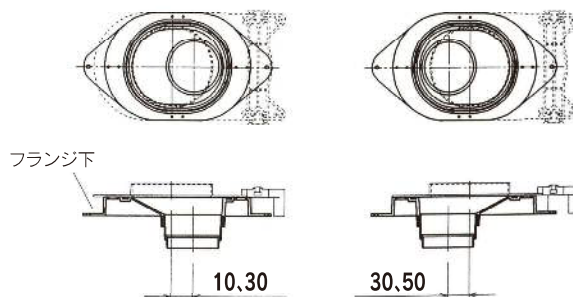
〔注意〕

- ・フランジの取付向きにご注意ください。
- ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

スタッドボルト(2本) 木ねじ5x40 (5本)



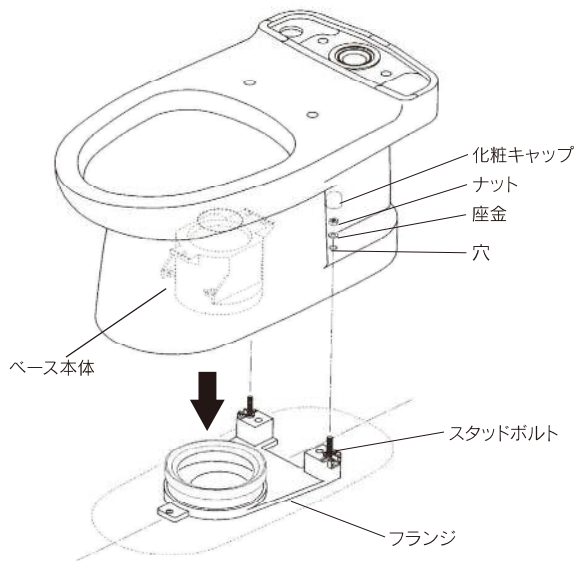
改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも偏心できます。



### 3

## 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



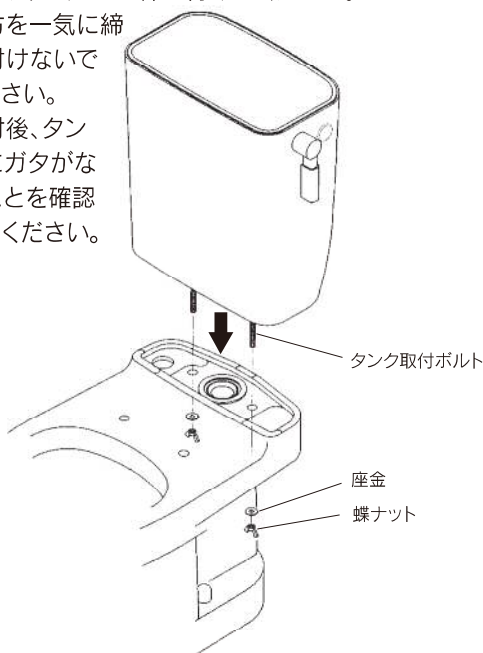
### 〔注意〕

- ・ ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ ベース本体とフランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。
- ・ ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

### 4

## ロータンクの取付

- ①便器にタンクをのせてください。
- ②蝶ナットと座金で締め付けてください。片方を一気に締め付けしないでください。
- ③締め付後、タンクにガタがないことを確認してください。



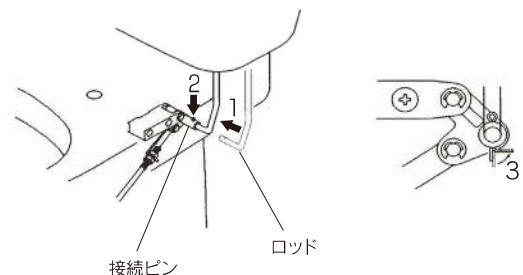
### 〔注意〕

- ・ タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・ 必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ ロータンクの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当たらないようにゆっくりと差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

## 5 ロッドの接続

接続ピンの穴とロッドの穴を合わせながらロッドを接続ピンに差し込み、割リピンを穴に入れて抜けないように先を広げてください。

- ①ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割リピンを穴に差し込んでください。
- ③割リピンの先端をプライヤー等で広げてください。



### 〔注意〕

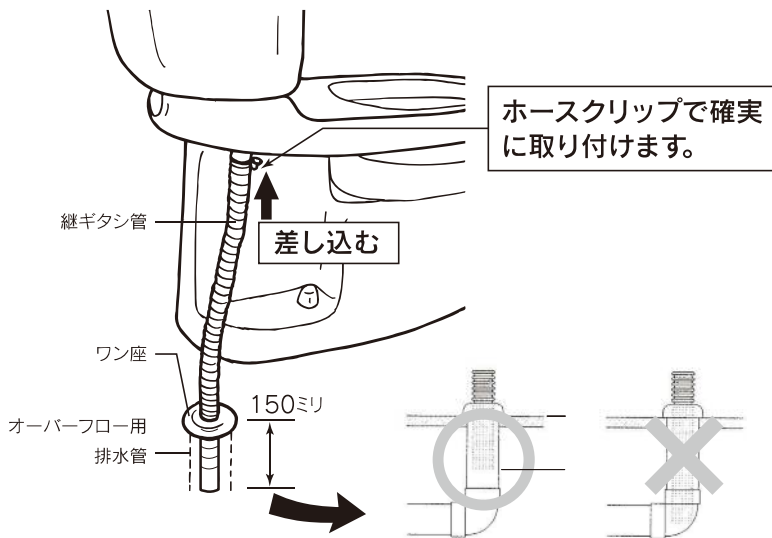
- ・ 必ず、ロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、レバーハンドルを操作してもフラッパーバルブが開きません。



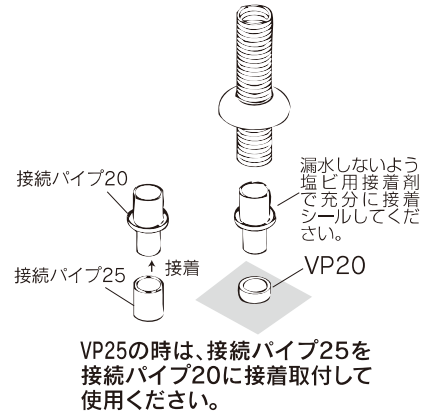
# 6

## オーバーフロー管の接続

継ぎタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。  
次に、継ぎタシ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



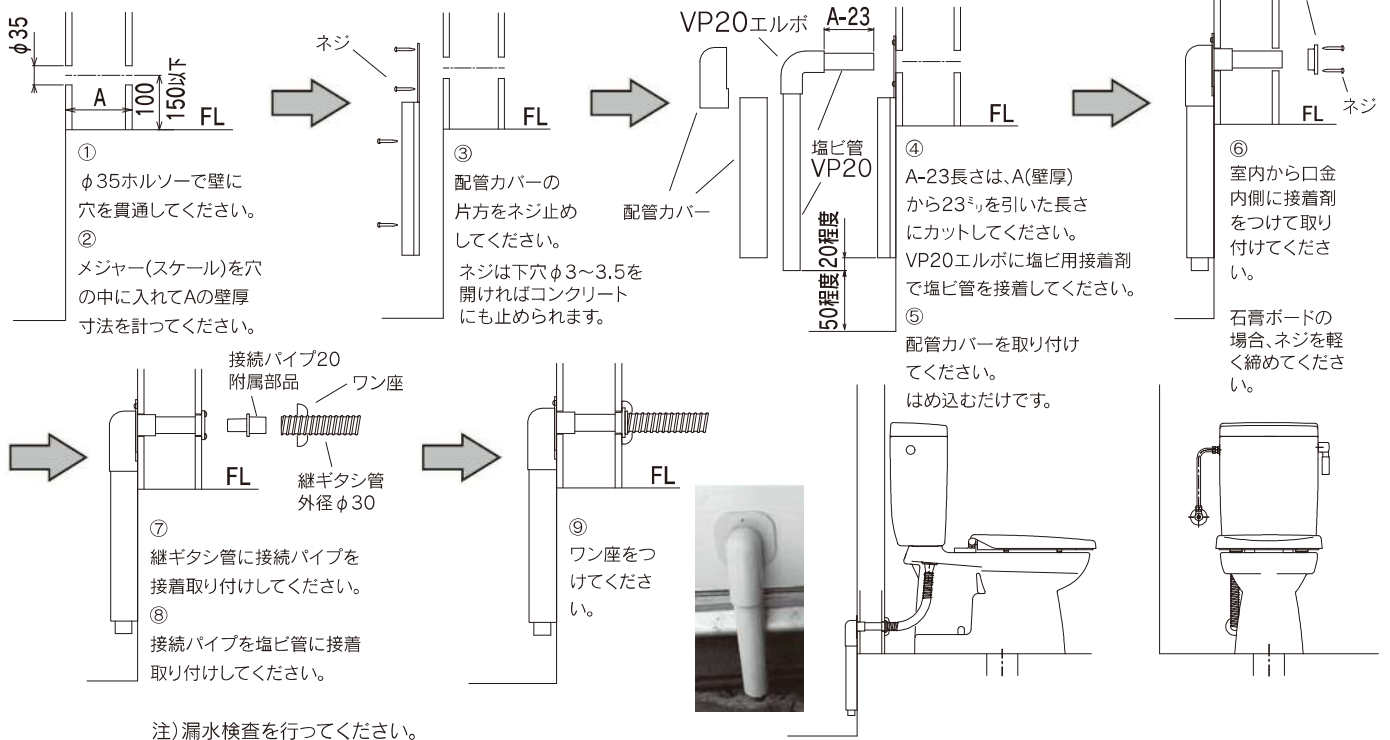
■ 既設のオーバーフロー排水管がVP20又はVP25で配管されている場合、附属部品の接続パイプをご利用ください。



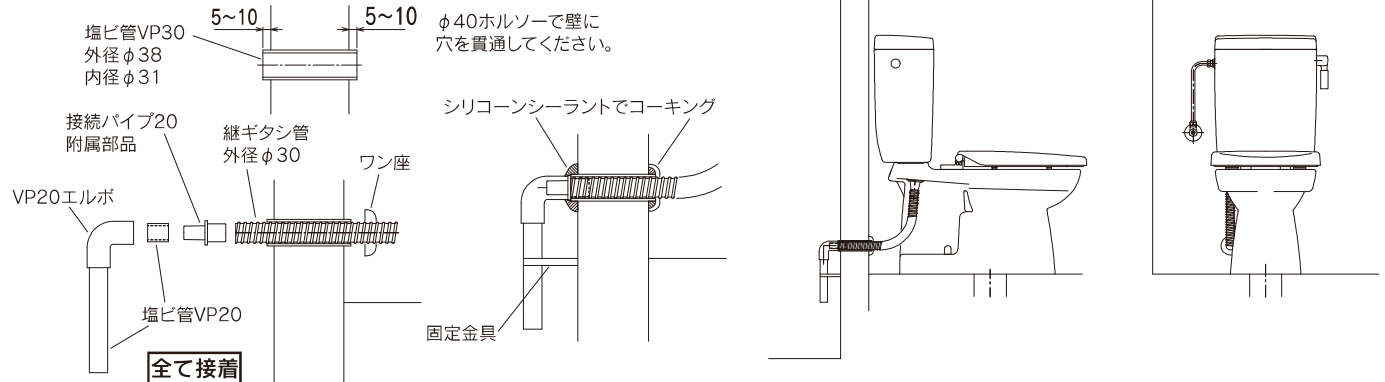
### 壁にオーバーフロー排水管を新設する場合

既設のオーバーフロー排水管が使えないとき、屋外に面した壁に付けてください。オーバーフローの内径は、約φ20以上必要です。

#### 【例1】オプション部品の壁オーバーフロー排水部品セット/AP-800を使って施工する場合



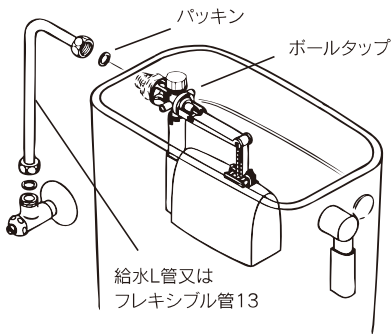
#### 【例2】塩ビ管を露出配管して施工する場合



# 7

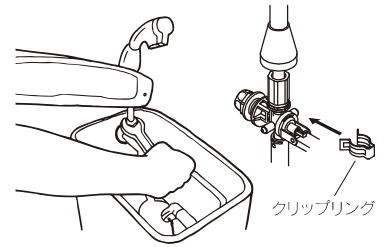
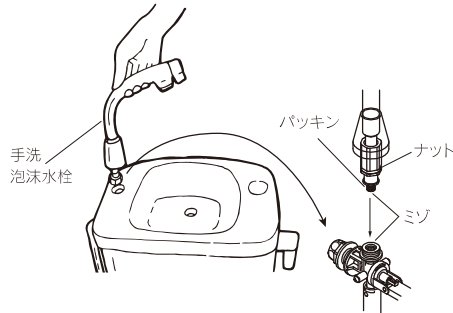
## 給水管の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



### 手洗泡沫水栓付の場合

ロータンクのフタをかぶせ、吐水の方向がフタの中央になるようにミゾを合わせます。フタを持ち上げナットを締め付けてください。



### 【注意】

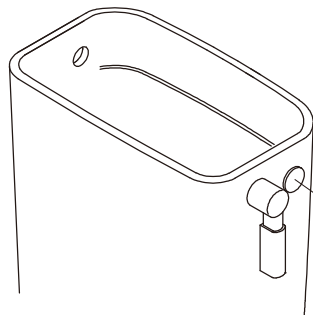
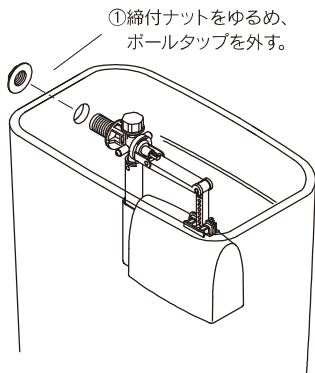
ボールタップの取付けは、真っ直ぐになるようにしてください。給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りしないようにしてください。共回りすると、ボールタップの浮玉がロータンクの壁に当たって動かなくなり、水が出っ放しとなります。また、真っ直ぐに取り付けないと、チェーンに引掛ったり、ボールタップ作動不良の原因となり、水が出っ放しとなります。オーバーフローしきれないときは、ロータンクから水があふれて床が水浸しになります。

### ボールタップ取り付け上の注意

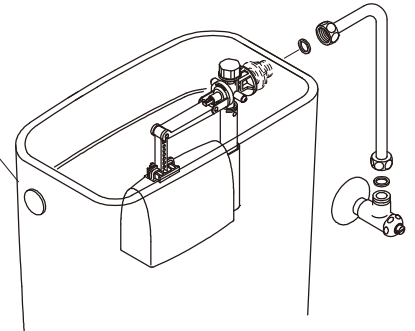
ボールタップを右給水にする時や外して再度取り付けする時、必ず、**ロータンクの水がない状態**で行ってください。  
ロータンクに水がある状態でボールタップを斜めにして浮玉(フロート)の中に水が入るように取り付けると、止水しなくなりオーバーフローしてしまいます。

### 右給水の場合

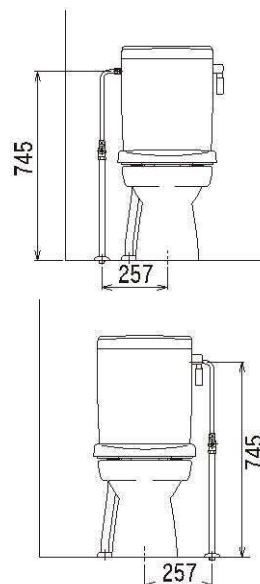
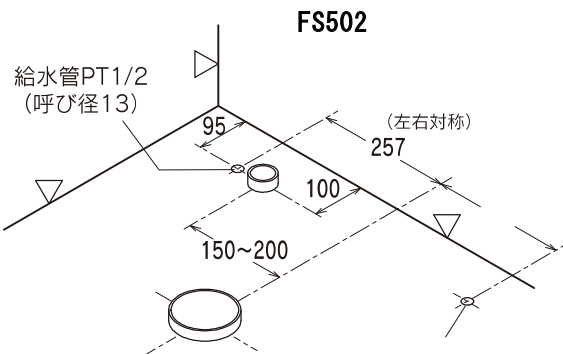
製品出荷状態は、左給水です。ボールタップを右に付け替えることで右給水にできます。



③右の穴にボールタップを差し込み、締付ナットを締めて固定する。



### 床給水の場合



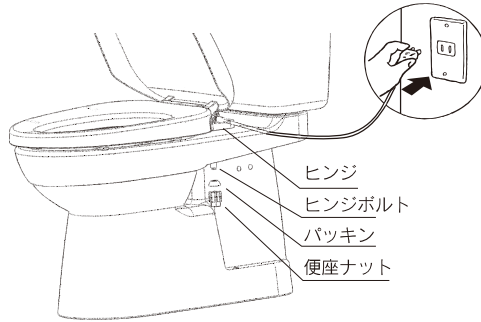
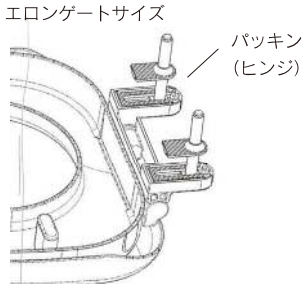
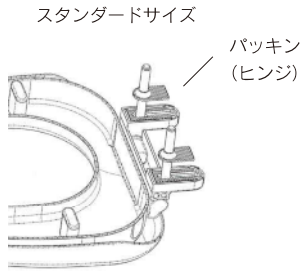
## 8 普通便座・暖房便座の取付

### 1 便座の取り付け

- ① エロンゲートサイズの場合はパッキン(ヒンジ)の向きを180度変えてください。
- ② パッキン(ヒンジ)とヒンジの凹凸を合わせてください。
- ③ 便器の便座取付穴にボルト部を差し込んでください。
- ④ 下からパッキンを入れ、便座ナットで締め付けてください。  
※締め付けは、スパナ(19)でヒンジが動かない程度に締めてください。

### 2 電源プラグを差し込む

⚠ 警告 (SW-7のみ) 交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

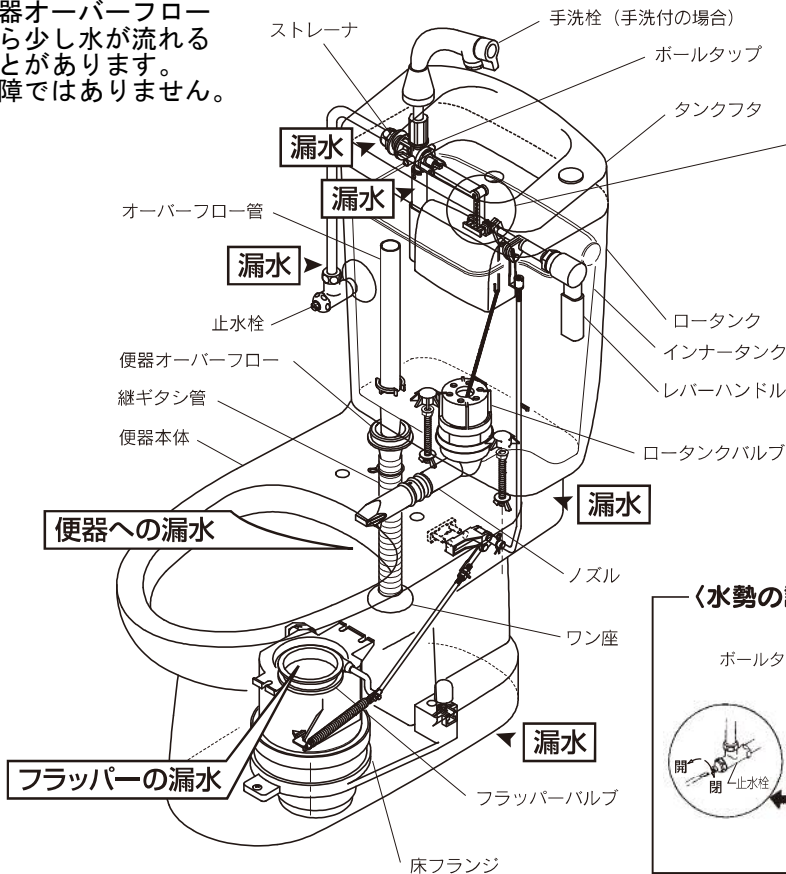


温水洗浄便座の場合は、製品についている説明書を読んで取り付けてください。

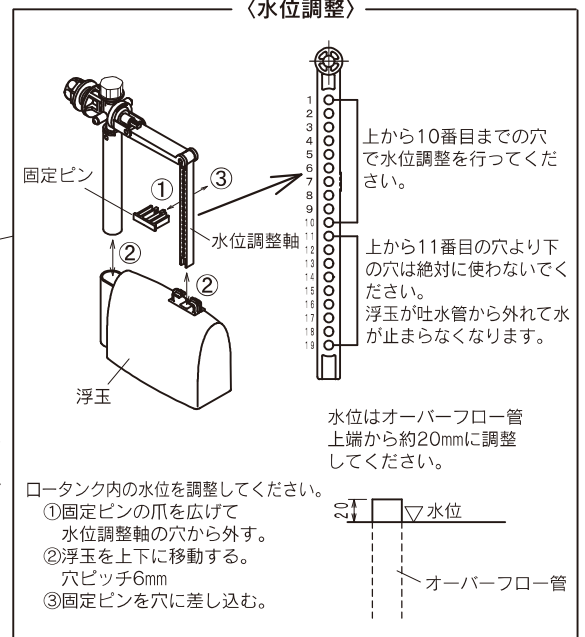
## 9 調整と点検

ボールタップの水位調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。レバーハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。

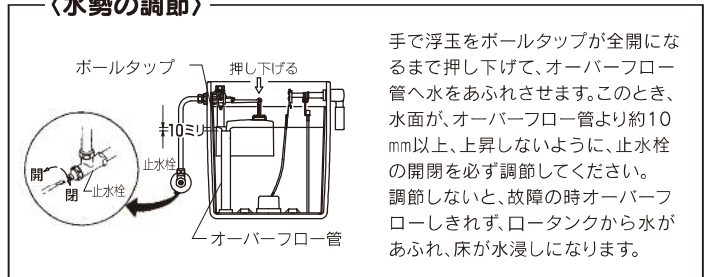
洗浄水を流したとき、便器オーバーフローから少し水が流れることがあります。故障ではありません。



### 〈水位調整〉



### 〈水勢の調節〉



工事完了後

取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。

保証書は必要事項を記入してお渡しください。

**Daiwa Kasei**  
**ダイワ化成株式会社**  
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1 DKビル  
〒810-0012 TEL092(521)1800  
工場 福岡県太宰府市大字北谷1123  
〒818-0114 TEL092(921)7888